



三種町

# 議会だより

令和7年  
2月1日発行

第76号



ぎゃあ〜!

かじられちゃう〜!

一般質問 7人が12項目を質す

7

決議

統合小・中の通学路の安全を 16~17

新企画

はなしっこきがへえでけれ〜  
まちかどインタビュー 18

三種たつのご保育園お正月お楽しみ会 (1/8)

発行：三種町議会

# 年頭所感



三種町議会

議長 加藤彦次郎

明けましておめでとうございます。

1月6日現在の上岩川の積雪は60cm。冬来たりなば春遠からじとは云うものの、まずはこの厳しい冬を乗り越えねばなりません。

さて、議会では議会改革特別委員会を設置し、さまざまな項目について議論が進んでおります。「議会のことは議会が決める」を基本としますが、今後の議会のあり方などについて幅広く町民の皆様の意見を聴くため、パブコメを実施することとなりました。率直な意見をお寄せいただきますようお願い致します。

1月20日にはトランプ大統領が就任します。予測不能と云われておりますが、平和な世界、秩序ある世界になりますよう祈るばかりであります。

1月6日記

本年もよろしく

お願い申し上げます

## 三種町議会

議長 加藤彦次郎

副議長 成田 光一

議員 畠山 勝巳

三浦 敦

高橋 満

平賀 真

遠藤 勝昭

児玉 儀広

森山 大輔

伊藤 千作

清水 欣也

荒谷 要伸

三村 真

(議席順)

小澤 高道

堺谷 直樹

皆様の傍聴をお待ちしております。



## 令和7年三種町議会定例会開催日程

令和7年

3月 …… 3月3日(月)～14日(金)  
6月 …… 6月10日(火)～13日(金)  
9月 …… 9月1日(月)～12日(金)  
12月 …… 12月9日(火)～12日(金)

※開催日程は、現時点での予定となります。今後変更する場合がありますので、傍聴に来られる際は、行政無線や議会事務局にお問い合わせの上、日程をご確認ください。



## ▶ 統合小学校等改修 工事設計業務

統合小学校（山本及び八竜）の  
大規模改修と琴丘小学校の改修  
にかかる工事設計業務

**1458万2千円**

## ▶ R T K 基地局設置業務

スマート農業用通信基地局の設置

**192万4千円**



## 一般会計

### ふるさと納税

**問** 令和3年度から4年度まで、ふるさと納税額の伸び率が低下していたが、回復した要因は。

で食品（おかず）である。

**答** 県内の自治体で納税額を伸ばしている事業者に切り替え、新しい返礼品も追加している。

また、返礼品は、品物のみでなく、体験メニューやお墓の清掃代行もあり、森岳温泉ゴルフ場では、そこでふるさと納税をした方にポイントを還元するなどの工夫をしている。

また、令和5年秋以降、全国的な米不足の影響により米への需要が高まったことも要因の一つである。

**問** 寄付金の活用の方は。

また、令和5年秋以降、全国的な米不足の影響により米への需要が高まったことも要因の一つである。

**答** 納税者に、6つのメニューから寄付金の使い道を選択してもらい、納税者の希望を優先している。特に希望がない場合は、町で分配している。

**問** 返礼品の相当額が寄付額の半額以下とされたが、当町の主な返礼品は。

**答** 返礼品の上位は、米、じゅんさいに次い

## 企業版ふるさと納税

**問** 寄付金の用途は。

**答** 寄付をしていただいた企業が住民と連携した地域づくりへの活用を希望されていたため、住民共助による地域づくり活動支援事業に活用したい。

**問** 企業版ふるさと納税の総額は。

**答** 令和6年度の寄付額は2件で60万円、物納が衛星携帯電話一式1件である。

**問** 企業が町に新規事業の提案をしたり、町が企業へ新事業のPR

をして寄付を呼びかけたりして、町で新規事業を興すきっかけづくりをしては。

**答** 新事業には財源が求められるため、議員の提言を受け止め、企業版ふるさと納税の制度を活用した新たな取組ができるか検討し、

進めていきたい。

## 教育費補助金

**問** ウィンタースポーツ奨励事業の詳細は。

**答** 県の補助事業であり、補助金の交付を受けたため、たざわ湖ス

キー場で行われる琴丘小5年生のスキー教室に活用する。

## 未熟児養育医療給付費返還金

**問** 返還の仕組みは。

**答** 令和5年度に前年度実績などに基づいて補助金が交付されており、6年度に5年度分の実績が確定した後、超過収入分を返還する仕組みになっている。

## 障害児給付金

**問** 増額の理由は。

**答** 令和6年11月から町内に児童発達支援・放課後等デイサービス事業所が開設され、新規利用者が増加したことによる増額である。

**問** 給付費の今後の見込みは。

**答** 現在の町内の施設における児童発達支援利用者は7人、放課後等デイサービスの利用者は4人であり、利用者が今後増加することも見込まれるが、現時点では、現在の水準で推移すると考えている。

## RTK基地局設置

**問** 具体的にどんなものが設置されるのか。

**答** スマート農業技術をフル活用できるよう試験的に普及拡大を目指すため設置するものである。

**問** 基地局の設置により全町でスマート農業機械の導入が可能になるということか。

### 企業版ふるさと納税のすすめ

| 軽減効果       | 税額控除         |          |           |
|------------|--------------|----------|-----------|
| 国税+地方税 約3割 | 法人住民税+法人税 4割 | 法人事業税 2割 | 事業者負担 約1割 |

三種町へ寄附をいただくと、町からの感謝状贈呈式を開催、町ホームページ・SNSでの紹介がされ、社会貢献活動として事業者のPR効果が得られるほか、最大で約9割の税に関する軽減効果が得られます。

### 寄附できる戦略の紹介

三種町が寄附を募る戦略、次の4つです。応援したい戦略を選んでご寄附ください。

#### 若者が定住し賑わう戦略

- 定住移住支援
- 若者活動支援
- 結婚支援
- 森岳温泉活性化
- 地域活性化イベント

#### 稼げる産業をつくる戦略

- スマート農業推進
- じゃんさい生産数量助成
- 農業次世代人材投資
- 地域雇用創出推進

#### みなねの子ども育成戦略

- 赤ちゃん誕生応援
- 子育て支援
- ランドセル贈呈
- 通学費補助
- 給食費補助

#### 住民と連携した地域戦略

- 自治会助成金
- 集会所等施設整備
- 住民共助によるバス運行/地域づくり活動支援

◆問い合わせ先  
三種町 企画政策課 企画係  
☎0185-85-4817 FAX0185-85-2178  
mail: kikaku@town.mitane.akita.jp

企業版ふるさと納税制度の積極的な活用を

**答** 基準局1ヶ所で半径約20kmカバーできるため、全町でスマート農業が活用できる。

**問** 制度の導入後、幹旋状況の変化は。

**答** 農業委員への会議出席を除いた、農地の見回り活動などに対する活動報酬となっており、幹旋の実績は増えていない。

### 最適化活動報酬

## 三種町八竜運動公園の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について

**問** 公園内のドラゴンモニュメントやトンネルなどの施設撤去に伴う団体利用料の減額や撤廃は。

公園全体を占用する場合にかかる料金の減額や撤廃はしない。

**問** 利用料の納付実績は。

**答** 改正前の条例では、すでに撤去している屋外ステージの利用料を定めていたため、改正案により削除するが、

**答** 近年は公園を占用して利用した団体はないため、利用料の納付実績はない。



施設が撤去された三種町八竜運動公園（八竜中裏）

## 国民健康保険事業勘定特別会計

**問** 滞納繰越分の収入見込み額は。

**答** 医療給付費分は収納率23・5%とし、

490万円、後期高齢者支援金分は収納率

23・5%とし、120万円、介護納付金分は

収納率24・47%として60万円を当初予算に計上している。

**問** 未就学児均等割軽減分の減額の理由は。

**問** 産前産後軽減分の内容は。

**答** 県から確定数値が通知されたため、不要な分を減額している。

**答** 国保加入者の出産前後の保険料を軽減するものであり、実績は2人である。

## 工事請負契約の一部変更について

### 農地農業用施設 災害復旧

**問** 契約金額の増減の内訳は。

**答** 変更ヶ所は2つあり、1ヶ所目は、堤体盛土工と基礎対策工に

において、施工前より改良材の添加量が増えたことにより、約500万円増額し、2ヶ所目は、掘削の結果、基礎対策工事の範囲などが減ったことにより約100万円減額となる。

# 12月定例会で審議された議案

|       |                                                        |       |
|-------|--------------------------------------------------------|-------|
| 予算補正  | 令和6年度三種町一般会計予算の補正について                                  | 原案可決  |
|       | 令和6年度三種町国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正について                        | 原案可決  |
|       | 令和6年度三種町介護保険事業勘定特別会計予算の補正について                          | 原案可決  |
|       | 令和6年度三種町水道事業会計予算の補正について                                | 原案可決  |
|       | 令和6年度三種町下水道事業会計予算の補正について                               | 原案可決  |
| 条 例   | 三種町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について                           | 原案可決  |
|       | 三種町一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正について                         | 原案可決  |
|       | 三種町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について                  | 原案可決  |
|       | 三種町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について                     | 原案可決  |
|       | 三種町立学校設置条例の一部改正について                                    | 原案可決  |
|       | 三種町奨学金貸付条例の一部改正について                                    | 原案可決  |
|       | 三種町八竜運動公園の設置及び管理運営に関する条例の一部改正について                      | 原案可決  |
| 単 行   | 工事請負契約の一部変更について<br>(農地農業用施設災害復旧事業12-103号ほか工事)          | 原案可決  |
|       | 秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更等について                               | 原案可決  |
| 陳 情   | 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情              | 採 択   |
|       | 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情 | 採 択   |
|       | 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情                            | 不 採 択 |
|       | 「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情             | 採 択   |
|       | 「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情                   | 採 択   |
|       | 「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情              | 採 択   |
| 委員会提案 | 秋田県に統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の安全対策を求める決議について              | 原案可決  |

| 賛否の分かれた<br>採決結果                    | 結 果 | 1    | 2   | 3   | 4   | 5    | 6    | 7    | 8    | 9    | 10   | 11   | 12  | 13   | 14   | 15    |
|------------------------------------|-----|------|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|-------|
|                                    |     | 畠山勝巳 | 三浦敦 | 高橋満 | 平賀真 | 成田光一 | 遠藤勝昭 | 児玉儀広 | 森山大輔 | 伊藤千作 | 清水欣也 | 荒谷要伸 | 三村眞 | 小澤高道 | 堺谷直樹 | 加藤彦次郎 |
| 三種町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について | 可決  | ○    | ○   | ○   | ○   | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | 議     |
| 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情        | 不採択 | ○    | ●   | ●   | ●   | ●    | ●    | ●    | ●    | ○    | ●    | ●    | ●   | ●    | ●    | 議     |

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 議…議長（採決に加わりません）

# 7 議員が登壇

# ただ 12 項目を質す

## 質 問 者

- P 8 清水 欣也 議員** ○工事入札制度の一部見直しについて
- P 9 遠藤 勝昭 議員** ○投票区再編後の利用状況について
- P10 森山 大輔 議員** ○いじめの現状と対策について  
○不登校の現状と対策について  
●集落支援員の活用による地域コミュニティーの維持振興について
- P11 堺谷 直樹 議員** ○新年度に農業者支援の拡充を  
○給食センターの外構修繕を早急に
- P12 伊藤 千作 議員** ○重点支援交付金増額、くらし応援の計画、提案を  
●会計年度任用職員「3年目公募」を撤廃したことについて
- P13 畠山 勝巳 議員** ○株式会社エムウインズの三種町への法人登記による地域活性化について  
●三種町における「会計年度任用職員」及び非正規職員の実態と今後の対応方針について
- P14 児玉 儀広 議員** ○三種町スポーツ少年団について

※●印の質問については、誌面の都合上掲載できなかったものです。  
おって町ホームページに会議録を掲載しますので、そちらをご覧ください。

## 一般質問は12月11日に行われました。

一般質問とは、年4回の議会定例会において行われます。  
議題とは関係なく、議員が町政全般にわたって執行機関に対し、施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるものです。  
通告制が採用されており、通告（質問の届出）は、議員個人の判断によります。

## 問 工事入札制度の運用を見直すべき

## 答 公正な仕組みづくりに取り組む



しみず きんや  
清水 欣也 議員

**問** 工事入札制度やその運用については、これまで企業の経営支援という側面もあって、どちらかというと企業側を向いた対応が主であり、競争で得られる住民の利益という観点からは横に置かれてきた。競争による町財政の経済性、効率性の確保、つまり住民の利益の実現というのは競争入札制度の根幹をなすものであり、公の機関として決して軽んじてはならない原理であるが、現実にはその前提とな

る競争性が低下し、制度の機能、役割は今や形骸化している。

競争入札が生み出す果実、即ち住民の利益の実現を実質的なものにするため、いわゆる1社入札、指名競争入札、予定価格の事前公表などについて、競争性と公平性が高まる仕組みになるよう、これまでの入札制度の運用を一部見直すべきではないか。

**町長** 1社入札については、町としては、指名競争入札で指名された業者の努力の結果だという認識であるが、一般競争入札の適用も今後の一つの検討材料だと思うので、担当課と協議の上、しっかりした仕組みづくりをしていきたい。

予定価格の事前公表については、現在、町

が実施している事前公表は公平な業者への対応だと考えているが、県で予定価格を事後公表とするモデル的試行を実施していることもあり、県の動向を見ながら運用の見直しについて慎重に検討することにする。

いずれにしても、今回の案件に関しては、これまでの町の入札実態を精査することにする。

また、国や県の情勢もいろいろ変化をしており、他の自治体の例を参考にしながら公平で公正な入札ができるような仕組みづくりに取り組んでいきたい。



入札制度の運用一部見直しを

## 問 投票区再編後の利用状況は

## 答 有権者に今後も周知していく

**問** 投票区再編後初めての選挙が令和6年10月に行われ、有権者の負担軽減と利便性を高めるため共通投票所・移動期日前投票所の設置、バスの無料化の投票環境を整備したが、利用状況は。

**課長等** 共通投票所を

琴丘、山本地域拠点センターと鶴川地区館に設置し、指定投票区以外からの投票者数は43人であり、移動期日前投票所は廃止された

7ヶ所を巡回し、投票者数は131人であった。バスの無料化につ

いては、平日、期日前投票期間の8日間を無料とし、利用者は34人であった。

**問** 移動期日前投票所の利用者は。

**課長等** 移動期日前投票所の7ヶ所とも利用

があり、勝平集会所が22人、山本ふるさと文化館が10人、達子生活改善センターが16人、豊岡公民館が24人、川尻自治会館が16人、大口公民館が18人、釜谷公民館が25人の利用があった。



投票しやすい環境づくりで投票率向上を

**問** 利用状況を検証し、制度の周知徹底を図るべきでは。

機を捉えて、分かりやすい制度の周知に努めていく。

**課長等** 投票区再編の

制度改正後初めての選挙であり、これからの

**問** 投票率向上についての取組は。

**課長等** 選挙管理委員会としては、投票しやすい環境づくりに努める。また、有権者の意識向上についても地味に時間をかけ、意識向上を図り、投票所の環境整備に努めていく。

**課長等** 具体的な施策としてすぐに効果が表れる特効薬のようなものはないが、投票区等運営方針に基づく共通投票所などの利便性向上の取組が有権者に浸透するよう今後も周知し、若い世代から政治に関心を持ち、選挙を通じて政治参加を意識付けしていくことが重要であると考えている。

**問** 今回の投票率が58・41%でこの投票率に関してどのように考えているか。

## 問 いじめ認知件数が低い理由は

## 答 教員の理解が図られたため



もりやま だいすけ  
**森山 大輔** 議員

**問** 本町のいじめ認知件数が全県と比べて大幅に低い理由は。

**教育長** 国や県の通知により教員の理解が図られ、かつ状況把握に努めたことによる。

**問** スクールカウンセラーなどの専門職の体制は。

**教育長** 中学校3校にスクールカウンセラーを配置している。



校内での支援体制は

**問** その体制でいじめ問題に十分対応できているか。

**教育長** 十分ではないが、スクールカウンセラーの役割は、子どもや保護者からの相談などを含んでおり、いじめ対応の主体は学校である。

**問** 学校統合により、今後いじめが発生しやすくなることが懸念される。専門家の配置を手厚くする考えは。

**教育長** 対応が必要だと考えている。

**不登校児童生徒数は増加傾向にある**

**問** 町内の不登校児童生徒数は。

**教育長** 令和3年度は小学生2人、中学生4人、4年度は小学生4人、中学生9人、5年度は小学生7人、中学生13人と、年々増加傾向にある。

**問** 校内に支援センターを設置する考えは。

**教育長** 学校の協力を得て、支援センター的なシステムづくりをしていきたい。

**問** 不登校期間中の評価の仕方は。

**教育長** 学力保障については十分配慮しなければいけないと考えている。評価の仕方につ

いては、できる範囲で評価に取り組んでいる。

**問** 特別支援学級や支援員の余裕を持った配置により、発達障害のある子どもの不登校を予防する考えは。

**教育長** 関係機関の協力を得て対応している。

教えて  
みた子さん



※ 学校には行けるが、教室やクラスに入りづらいと感じる児童や生徒が落ち着いた空間で学習・生活できるよう空き教室などを活用して設置された施設です。

## 問 農業者支援の拡充を

## 答 支援を検討する

**問** 大雨などで被災した場合、災害認定をされれば県や町の復旧支援補助金を活用できるが、該当しない場合は個人で維持修繕費を負担しなければならぬ。町の基幹産業である農業を下支えする意味でも新たな支援策が必要ではないか。

**町長** 要件を満たせず、国や県の支援の対象とならない箇所については、町単独事業で復旧支援をしている。多面的機能支払と中山間地域等直接支払の交付対象となっている農地などについては、各組織で対応されている。

**問** いずれの支援も得られなかった方はどうすれば救済できるのか。

**町長** すべての農地を町の事業で補助していくのは厳しい。

しかし、町の基幹産業である農業農地を維持するためには支援も必要と考える。補助の条件を考慮しながら、どのような支援が出来るのか検討したい。

## 給食センターの外構修繕を早急に

**問** 子育て交流施設「みつしゅ」は町内外から多くの利用者が訪れており、今や子育てしやすい町の代表的な施設となっている。そんな多くの人が訪れる施設と同じ敷地内にある給食センターは、地盤沈下の影響で外観を著しく損なっており、訪れる人に驚きを与えているのではないか。

今の状態では給食センターで働く方にもかなりの負担があると推察できる。早急に修繕すべきでは。

**教育長** 竣工から15年経過しているが、周辺地盤が軟弱であることから地盤沈下が続いている。配管や舗装など、必要に応じて補修を施してきたが、有効な対

策が見つからない状況にある。外構修繕については地盤沈下が懸念されるものの、外観の改善、給食センター従事者の安全と負担軽減を図る必要があることから、令和7年度に工法や技術的な検討を行う。



早急に外構修繕を



さかいや 堀谷 直樹 議員

# 問 国の支援交付金活用し生活支援を

## 答 支援の具体化を急ぐ

**問** 政府は、令和6年11月22日、新たな経済対策を閣議決定し、補正予算案を12月上旬に国会に提出している。経済対策では、重点支援地方交付金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について、①低所得世帯支援枠の追加、②推奨事業メニュー枠の追加が明記された。自治体に対し、可能な限り早期の予算化に向けた検討を速やかに進めるよう要請している。



いとう せんさく  
**伊藤 千作** 議員

**中身として、低所得世帯支援枠、住民税非課税世帯1世帯あたり3万円を給付、住民税非課税世帯の子ども1人あたり2万円追加給付。自治体独自の上乗せは可能だとしている。町として上乗せを考えたかどうか。**

**新たに追加された事業として、灯油支援、地方公共団体における水道料金の減免にも対応するとしている。**

**令和5年度は、灯油などの支援は、1世帯2万円の支援を行ってあるので、6年度は、それを上回る支援を計画したらどうか。**

**町長** 今回の件については、国の予算審議もずれ込んでいるというか、スタートが遅かった関係もあるが、確かに5年度は手厚い支援ができたと思っている。



物価高騰に対し昨年よりも手厚い支援を

現時点で地方公共団体への配分額が示されておらず、財源の部分で不透明な部分がある。そういった意味では、

ある程度、5年度までやった事業もいろいろな精査しながら、どこまで効果ある事業ができるのか、そこはしっかりと

りと考えている。その中で当然、国からの財源もそうだが、当然、町の財政からもしっかりと上乗せしてこの対策に当たっていききたいと考えている。

ただ、中身については、国からの財源もかなり貴重なもので、その財源を見ながらどういった形で支援できるのかやっていきたいと思っているため、少し時間をいただければありがたいと思っている。

## 問 風力発電所による税収の用途は

## 答 ほかの税収と同様に扱う

問 エムウインズ八竜

の三種町への法人登記には浜口連合自治会の働きかけが契機になったと理解しているが、町長はどう考え評価するか。

令和5年9月親会社の明電舎にエムウインズ八竜の本社移転願いの文書を発出した。

問 今後更新が予定されている風力発電所による税収は浜口地区の

町長 浜口連合自治会による働きかけは詳細は把握していないが、

地域発展のために何らかの形で応えるべきだと考えるが、どうか。

町長 ほかの税収と同じように地区地域を限定せずに予算執行全体の中で考える。今後自治会や連合自治会が地区の課題解決のために財源を必要としている場合は、別途相談していただきたい。

問 エムウインズの法人住民税が地域貢献として町の財源に加わる

ので、何らかの形で浜口連合自治会の行為を評価してほしいが、どうか。

課長等 浜口連合自治会の方から提案いただいたのは事実だが、会社と町との直接的なや



エムウインズ八竜が運営する風車

り取りもあったため、浜口連合自治会に対する地域貢献を町として考えることについては、ほかの税収と同じ扱いにさせていたかどうか。

町長 上岩川地区での風力発電事業に関しては事業の実施や地域貢献策もまだ、決定していないが、事業実施が決まった場合は、教育や地域全般に関わる地域貢献について検討していただきたい。

問 上岩川地区でも風力発電が計画されているが現状はどうか。

また、地域振興との関係で町としてどう関

問 事業会社との交渉は、住民側にすれば不慣れな面が多く、交渉の仕方もあるから、町としての支援が必要なのではないか。

課長等 事業者へは住民の方々への説明を十分していただいて、意見を聴いてくださいうことを求めている。

はたけやま 富山 かつみ 勝巳 議員



はたけやま 富山 かつみ 勝巳 議員

## 問 スポ少支援の見直しを

## 答 前向きに検討する



こだま よしひろ  
**児玉 儀広** 議員

**問** 三種町スポーツ少年団への町としての支援は。

**教育長** 10団が所属する三種町スポーツ少年本団へ年間54万円の補助を行い、運営を支援しており、本団から育成費として1団につき1万円を補助、スポーツ少年団指導者登録料1人500円、スタートコーチ養成講習会合格者へ1人200円の助成が行われている。

**問** 複合団体に対しても1万円の補助か。

**課長等** 琴丘地域が複合団体ということで、琴丘地域の場合は、種目ごとに1万円支払われている。

**問** 合同チームとしてユニホームを作る場合の支援は。

**課長等** 部員数が少なくなり、保護者の負担も大きくなっていることは承知している。

ユニホームだけでなく、必要なものも含めて意見を募り、どのような対応ができるのか検討していく。

**問** 今年の旅費、交通費の補助は。

**課長等** 4団体に55万4000円を補助している。

**問** インバウンド需要の増加や物価高により、ホテルや旅館の宿泊費が高騰している中、町としてどう考えるか。

**課長等** 補助要綱に基づき、宿泊費は上限6000円となっている。



複数の小学校から集まり仲良く練習に励んでいる

**問** 子どもたちが頑張って勝ち上がったも、負担が大きくて素直に喜べないようなスポーツ振興ではなく、背中を押してやるくらいの施策が必要ではないか。

**課長等** よりよい活動ができるよう今後も努めていく。

**問** 今の交通費、宿泊費の補助は物価高の時代にそぐわないのではないか。見直しすべきでは。

**町長** 子どもの健全な育成は町にとっても大事な施策の一つ、前向きに検討していく。

## 読まれる議会だよりを目指して



去る9月25日、東京都ニッショーホールを会場に町村議会広報研修会が開催された。

広報広聴委員6人が参加し、3人の講演を聞き勉強してきた。

議会だより全国1位の埼玉県寄居町は、「読まれない議会だよりに出す意味なし」と編集方針を掲げ、町民に読まれる議会だよりを目指し、日々奮闘しているそうだ。

今回の研修の成果を議会だより作成に活かしていきたい。

(荒谷 要伸 記)

## 秋田県森林・林業・林産業活性化 推進議員連盟連絡協議会

### 令和6年度定時総会 報告

去る令和6年11月25日(月)に秋田市イタカにて表記総会が開催され出席した。

この会は、秋田県をはじめ、全国規模での森林・林業・林産業の活性化に資するための諸活動を行う事を趣旨として、これに賛同した「秋田県議会林活議員の会」と「県内各市町村林活議員連盟」で構成されている。

当日は、東北森林管理局長をはじめ、関係10団体の代表者が来賓として出席のもと、令和5年度各議案報告と6年度各案が審議された。

総会終了後、秋田県立大学・木材高度加工研究所長・教授の高田克彦氏による「秋田COI-NEXTソウゾウの森プロジェクトについて」と題して講演があり、同プロジェクトの基本コンセプト、実施する研究開発課題などについての紹介後、意見交換をして閉会した。

(成田 光一 記)

## 令和6年 第4回臨時会

期日 令和6年11月28日(木)

|     |                                     |      |
|-----|-------------------------------------|------|
| 報 告 | 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定に関する件)     |      |
| 承 認 | 専決処分の承認を求めることについて(令和6年度三種町一般会計補正予算) | 承 認  |
| 単 行 | 財産の取得の一部変更について(三種川監視カメラ)            | 原案可決 |
|     | 財産の取得の一部変更について(琴丘総合体育館空調機)          | 原案可決 |

# 環境厚生委員会の 所管事務調査報告

環境厚生委員会（委員長・堺谷直樹、副委員長・荒谷要伸）は、統合小・中学校の通学路となっている県道のうち、森岳ローソン交差点から山本中交差点にかけての安全対策について、町は県にどのような安全対策を求めてきたのか調査しました。

## 建設課の取組



森岳ローソン交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置などを要望

## 秋田県建設部の回答

学校の通学路には片側に歩道が整備されている。  
交差点の安全対策は関係機関と協議しながら進める。

## 能代警察署の回答

森岳ローソン交差点への新信号機設置は見送る。

**理由** 当該交差点に信号機が設置された場合、付近道路を通過する車両への影響が大きい。

## 町民生活課の取組



森岳ローソン交差点への信号機設置と山本中入口交差点の押しボタン式信号機を感応式信号機へ改善するよう要望

## 秋田県公安委員会の回答

1. 山本中入口交差点の押しボタン式信号機を感応式信号機への改善は見送る。

**理由** 統合中学校開校に伴う交通量変化が不明なため

2. 横断歩道設置も見送る

**理由** 交通量が少ないため横断歩道がなくても渡れるため

## 委員会

児童生徒の安全性に一切の配慮が見られなく、看過できない!!

「秋田県に統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の安全対策を求める決議」を提出へ。

# 統合小・中学校の 通学路の安全対策を!!

## 秋田県に統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の 安全対策を求める決議

当町では、山本中学校敷地内に、令和8年度開校に向けて統合中学校が建設中であり、また、山本中学校は、森岳小学校と金岡小学校の統合小学校として開校するための準備が進められている。

この統合小・中学校の通学路には県道能代五城目線が含まれており、当該路線は、秋田県の所管である。

そのため、当町の執行部は、児童生徒の安全対策に万全を期すべく、県に対して、県道能代五城目線と県道森岳鶴川線の交差点（森岳ローソン交差点）に新規信号機の設置や、山本中学校入口交差点の感应式信号機への改良・横断歩道の設置を要望してきたところである。

しかし、県においては、「付近道路を通過する車両への影響が大きい」「統合中学校開校に伴う交通量変化が不明」などの理由により、当該要望は見送るとの回答であった。さらに、山本中学校入口交差点への横断歩道設置についても、「交通量が少ないため横断歩道がなくても渡れる」と、児童生徒の安全性には一切の配慮が見られない回答であった。

当該交差点付近は、能代方面からは下り坂で自動車のスピードが出やすいため、現在も交通事故が多発し、児童生徒や保護者だけでなく、地域住民からも不安の声が上がっている。また、全国各地においても、登下校中の児童生徒が自動車に巻き込まれるという痛ましい交通事故が数多く発生していることから、現状を看過することはできない。

よって、当町議会は町長と連携し、秋田県議会並びに秋田県知事及び秋田県公安委員長に対して、統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の安全対策を強く求めることとする。

以上、決議する。

令和6年12月13日

秋田県三種町議会

# 全会一致で可決

とどけ!

# ぼくたち・わたしたちの

メッセージ



## 森岳小学校6年生の声

### 「2025年のチャレンジ」

- 中学生に向けて、苦手な勉強を頑張る。低学年のお世話をしっかりする。
- 中学校でバスケットボールのメンバーに入って、大会へ行きたい。
- 山中野球部で、全県や大きな大会で優勝したい。

(取材：三村 眞、遠藤 勝昭)



はなしっこ  
きがへえ下けれ～



## まちかどインタビュー

Can I ask some questions?



さくらだ まみ  
櫻田 真実さん(八竜地域)

### ◇◇ プロフィール ◇◇

平成24年にご主人と三種町へ移住。その後、ご主人の仕事の関係で1年半中国で生活。令和2年に「配食のふれ愛」三種店のオーナーへ。



### Q 議会だよりを読んでいますか？

A 読んでいません

問 読まない理由は何ですか？

答 毎月配布ではないため、見逃すことが多いです。また、議会の存在が自分の中で身近ではなかったもので、見てもよく分かりません。

問 議会だよりの改善点・要望はありますか？

答 「議会だより」というタイトルが堅いと思います。見たくなるようなタイトルをつけると今後、読者が増えるかもしれません。

### ～ 伝えたいこと ～

10年前に子育てすると決めたとき、他の自治体よりも三種町の政策の方が、より安心して子育てできると感じました。誕生祝金や子どもの医療費無料はありがたいですが、子育て世代だけでなく、誰もが取り残されない町であってほしいです。

地域コミュニティが希薄化される中、町民との声かけや繋がり、優しさを大事にする必要があります。行政に関わる方々は、誰に対しても笑顔や声かけなど繋がりを大事にしてほしいと思います。

(取材：三村 眞)

## 編集後記



三種町議会だよりは、議会としての独自性を追求しながら、議論を重ねてきました。それが町民の皆様へ受け入れられるか自信はありませんが、挑戦しています。

畠山 勝巳 記

## 編集

### ◆ 広報広聴委員会

委員長 三村 眞  
副委員長 遠藤 勝昭  
委員 森山 大輔  
委員 児玉 儀広  
委員 荒谷 要伸  
委員 畠山 勝巳